

問題

次の文章を読んで、後の問いに答えましょう。

かのガリレオがふりこの法則を発見したのは、次のような(ア)はなしからでした。
 一五八三年、イタリアのピサの(イ)教会でのことです。じっと天井を見つめているひとり
 の①青年がいました。十九才のピサ大学の学生、ガリレオ・ガリレイです。

ガリレオは、天井からつりさがっている、きらきら②かがやくひときわ大きいランプをひた
 すら見つめました。ランプは、右に、左に、ゆっくりとゆれていきます。

「あのランプのゆれは少しずつおさまってきている。しかし、③あれが一往復する時間はいつ
 も同じように感じる。」

「一往復する時間を(ウ)計るにはどうしたらよいのだろうか。」

それからというものガリレオの頭の中は、ランプのゆれのことばかりとなりました。
 そんなある日、ガリレオはひらめきました。

「そうか。みやく拍の回数でランプが往復する時間を計ってみればよいのでは！」

ガリレオはその(エ)ご、ランプのかわりに、ひもにもりをつり下げた「ふりこ実験器」を
 作り、研究を重ねました。④、「ふりこの法則」を発見したのです。

問一

本文中の線部について、漢字の読みをひらがなで、ひらがなは漢字に直して□に正しく
 書きましょう。送りがなが必要なものは送りがなも書きましょう。

(ア) はなし

話

(イ) 教会

きょうかい

(ウ) 計る

はかる

(エ) ご

後

問二

本文中の線部①「青年が」は主語です。この主語に対する述語を書きましよう。

主語は「何が・だれが」の部分に
 あたる言葉、述語は「どうする・ど
 んなど・ある・いる・ない」の部分
 にあたる言葉だよ。



いました

問三

本文中の 線部②「かがやく」は修飾語です。この修飾語がかかる言葉(被修飾語)を次の中から選んで○をつけましょう。

修飾語は被修飾語をくわしくする言葉。修飾語と被修飾語をつなげて読んでみよう。自然につながるところが正解だよ。



「被」は「くされる」という意味。

ひときわ

大きい

ランプ

問四

本文中の 線部③「あれ」は指示語(こそあど言葉)です。この指示語が指す内容を本文中の言葉で書きましょう。

本文の指示語の部分に答えだと思っ言葉を入れて読んでみるといいよ。



(あの)ランプ

問五

空らん ④ には、つなぐ言葉(接続語)が入ります。次の中からあてはまる言葉を選んで○をつけましょう。

接続語の前後の文の内容をよく考えてみよう。



また

そして

しかし

問六

この文章には、いくつの形式段落があるでしょうか。段落の数を漢数字で書きましよう。

本文の一番上のマスが空いている時は、改行(次の段落)になっているよ。



六 段落

問七

この文章の一段落目にはどんな役割があるでしょうか。次の中から最もあてはまる言葉を選んで○をつけましょう。

具体例

理由の説明

話題の提示

結論

「提示」とは、指し示すこと。「話題の提示」は、これから始まる話の内容を示しているよ。

